



Jメタルシリーズ

ターペン可溶2液超低汚染形ふっ素樹脂塗料

ターペン可溶2液超低汚染形アクリルシリコン樹脂塗料

Jメタルフッソ

Jメタルシリコン

■ 特長

JIS K 5659 鋼構造物用耐候性塗料 A種
上塗り塗料 1級 (Jメタルフッソ)

JIS K 5659 鋼構造物用耐候性塗料 A種
上塗り塗料 2級 (Jメタルシリコン)

- ① JIS K 5659鋼構造物用耐候性塗料 A種 上塗り塗料に合格しています。
- ② 光沢低下や変色が極めて少なく、高耐候性を発揮します。
- ③ 親水化技術により雨だれ汚染から建物をまもり、美しさを長持ちさせます。
- ④ 弱溶剤系であるため臭気がマイルドです。
- ⑤ 塗装時の発泡がなく、抜群の塗りやすさです。
- ⑥ 藻・かびの発生を抑え、建物の美観と清潔な環境をまもります。
- ⑦ 透湿性が高いため、結露から建物をまもります。

■ 用途

学校など公共施設の内外装 (新設・改修)
マンション・商業施設などの内外装 (新設・改修)

■ 適用下地

鉄鋼面、亜鉛めっき鋼面など
※公共工事の場合は、仕様に基づいた下塗り・中塗りを選定してください。

■ 塗装仕様例

公共建築改修工事標準仕様書 令和4年度版 鉄鋼面の耐候性塗料塗り

下地調整

工程	種別			塗料その他	面の処置
	RA種	RB種	RC種		
残存塗膜の除去	○	—	—	—	ディスクサンダー、スクレーパー等により、塗膜、錆等を全面除去する。
	—	○	—	—	ディスクサンダー、スクレーパー等により、劣化しづらい弱な部分、錆等を除去し、活膜は残す。
汚れ・付着物除去	○	○	○	—	素地を傷つけないようにワイヤブラシ等により、除去する。
油類除去	○	○	—	—	既存塗膜を除去した範囲を溶剤がき。
研磨紙ざり	○	○	—	研磨紙 P120 ~ 220	全面を平らに研磨し、研磨かす等を除去する。
	—	—	○	研磨紙 P240 ~ 320	

※新規に塗装を行う場合は、下地調整に代えて、素地ごしらを公共建築改修工事標準仕様書7.3.3により行ってください。

塗装工程

工程	種別			商品名	塗料その他		塗回数	塗付け量 (kg/m ²)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率(%)	塗装方法
	A種	B種	C種		規格	種類又は等級						
下地調整	○	—	—	RA種								
	—	○	—	RB種								
	—	—	○	RC種								
1 下塗り (1回目)	○	—	—	ジンキー 8000 メタルグレー	JIS K 5552	2種	1	0.14	16時間以上 6ヶ月以内	ニッペジンキー 8500シンナー	0 ~ 5 5 ~ 15	はけ・ウールローラー エアレススプレー
	—	○	○	ハイボン20ファイン	JASS 18 M-109 ^{注1)}	—			16時間以上 10日以内	塗料用シンナー A または 塗料用シンナー SA	0 ~ 10 0 ~ 5	はけ・ウールローラー エアレススプレー
2 下塗り (2回目)	○	—	—	ハイボン30マッシュプライマー K	JIS K 5551	A種	1	0.14	16時間以上 10日以内	ハイボンエポキシ シンナー	0 ~ 5 0 ~ 10	はけ・ウールローラー エアレススプレー
	—	○	—	ハイボン20ファイン	JASS 18 M-109 ^{注1)}	—			16時間以上 10日以内	塗料用シンナー A または 塗料用シンナー SA	0 ~ 10 0 ~ 5	はけ・ウールローラー エアレススプレー
3 下塗り (3回目)	○	—	—	ハイボン30マッシュプライマー K	JIS K 5551	A種	1	0.14	16時間以上 10日以内	ハイボンエポキシ シンナー	0 ~ 5 0 ~ 10	はけ・ウールローラー エアレススプレー
4 研磨紙ざり	○	○	○	研磨紙 P120 ~ 220								
5 中塗り	○	○	○	ファイン中塗DP	JIS K 5659	A種 中塗り塗料	1	0.14	3時間以上 10日以内	塗料用シンナー A または 塗料用シンナー SA	0 ~ 10 0 ~ 5	はけ・ウールローラー エアレススプレー
6 上塗り ^{注2)}	○	○	○	1級の場合 (ふっ素系)	Jメタルフッソ	JIS K 5659 上塗り塗料 1級	1	0.10	—	塗料用シンナー A	0 ~ 10 5 ~ 10	はけ・ウールローラー エアレススプレー
	○	○	○	2級の場合 (シリコン系)	Jメタルシリコン	JIS K 5659 上塗り塗料 2級	1	0.10	—	塗料用シンナー A	0 ~ 10 5 ~ 10	はけ・ウールローラー エアレススプレー

※新規に塗装を行う場合で、工程6まで鉄骨等の製作工場で行う場合は、工程4の研磨紙ざりは省略してください。

※鉄骨等の製作工場で溶接した箇所は錆止め塗料塗りは、公共建築改修工事標準仕様書7.4.3(2)に基づいてください。

※上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

※塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります。)

注1) JASS 18 M-109 変性エポキシ樹脂プライマーには、「ハイボンファインプライマー-II」、「ハイボン20デクロ」、「ハイボン20ZN II (新)」もご使用いただけます。

注2) JIS K 5659鋼構造物用耐候性塗料 A種 上塗り塗料3級をお求めの場合は、「ファインウレタンU100」をご使用ください。



ニッペ Jメタルフッソ・Jメタルシリコン

■容量・荷姿

塗料名	色相	つや	容量	塗付け量 (kg/m ²)
Jメタルフッソ	各色	つや有り	16kgセット (塗料液14kg、硬化剤2kg)	0.10
Jメタルシリコン			3.2kgセット (塗料液2.8kg、硬化剤0.4kg)	

■塗り重ね乾燥時間

	5～10℃	23℃	30℃
塗り重ね乾燥	8時間以上	4時間以上	3時間以上

■ポットライフ 6時間 (23℃)

■性能 (JIS K 5659 鋼構造物用耐候性塗料 A 種 上塗り塗料 規格)

試験項目	規格	Jメタルフッソ	Jメタルシリコン
容器の中の状態	かくはん(攪拌)したとき、堅い塊がなく一様になる	合格	合格
表面乾燥性	表面乾燥する	合格	合格
塗膜の外観	正常である	合格	合格
ポットライフ	5時間	合格	合格
隠ぺい率%	白・淡彩は90以上、鮮明な赤及び黄は50以上、その他の色は80以上	合格	合格
鏡面光沢度 (60度)	70以上	合格	合格
耐屈曲性	折曲げに耐える	合格	合格
耐おもり落下性	塗膜に割れ及び剥がれが生じない	合格	合格
層間付着性Ⅱ	異常がない		
耐アルカリ性	異常がない	合格	合格
耐酸性	異常がない	合格	合格
耐湿潤冷熱繰返し性	湿潤冷熱繰返しに耐える	合格	合格
加熱残分%	白・淡彩は50以上、その他の色は40以上		
促進耐候性	1級	照射時間：2000時間。塗膜の外観：塗膜に、割れ、剥がれ及び影れがない。色の変化：大きくない。白垂化の等級：1又は0。光沢保持率：80%以上。	合格
	2級	照射時間：1000時間。塗膜の外観：塗膜に、割れ、剥がれ及び影れがない。色の変化：大きくない。白垂化の等級：1又は0。光沢保持率：80%以上。	合格
屋外暴露耐候性	1級	塗膜の外観：塗膜に、割れ、剥がれ及び影れがない。色の変化：大きくない。白垂化の等級：1又は0。光沢保持率：80%以上。	合格
	2級	塗膜の外観：塗膜に、割れ、剥がれ及び影れがない。色の変化：大きくない。白垂化の等級：2、1又は0。光沢保持率：40%以上。	合格

■施工上の注意事項 ●詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください。

- 本塗料は、優れた性能を発揮させるために、非常に敏感で強固な反応をするように設計されています。水やアルコール類が混入しないようにしてください。また空気中に含まれた水分や湿気とも敏感に反応します。必ず密栓し、0℃～40℃未満に保てる冷暗所に保管してください。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 本品を塗装する場合は、上・中塗りの透けや塗り残しのないようにご注意ください。また当たり傷などにも注意してください。上・中塗りに透けや塗り残しまたは当たり傷があると紫外線により周辺塗膜が早期に劣化する恐れがあります。
- 塗料液と硬化剤の混合は、電動攪拌機などで均一になるまで行ってください。
- 防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- 被塗物の構造、部位、塗装仕上げ形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が現れられない場合があります。
- 塗装面を部分補修する際は、硬化剤の入れ忘れにご注意ください。汚染むら発生の原因になります。
- 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダシ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
- 硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- 硬化剤は湿気で硬化しますので密栓して貯蔵してください。
- 塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようにご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
- 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高湿度、結露、降雨など)、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を傷め溶剤剥れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認のうえ、塗装仕様をご検討ください。
- 塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 上塗りに付えたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。なお、特に付えた色相では、共色を下塗りしても標準の使用量、塗装回数で隠ぺい出来ない場合があるため、事前に試験施工塗り板等でご確認下さい。
- 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- 汚れ、きずなどにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート (SDS) をご参照ください。

■安全衛生上の注意事項

ニッペ Jメタルフッソ 硬化剤

横転禁止

- 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- 容器を密閉しておくこと。
- 容器を接地しアースをすること。
- 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。
- 火花を発生させない工具を使用すること。
- 静電気放電に対する措置を講ずること。
- 粉じん/塵/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 取扱後は、手洗いやうぶがいを十分にすること。
- 屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 環境への放出を避けること。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- 換気が不十分な場合：呼吸用保護具を着用すること。
- 本来の用途以外に使用しないこと。
- 気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。
- 特別な処置が必要である。
- 口をすすぐこと。
- 漏出物を回収すること。
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚刺激又は発疹(疹)が生じた場合：医師の診察/手当を受けること。
- 呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合は洗濯をすること。
- 火災の場合：消火するために適切な手段を使用すること。
- 皮膚又は髪に付着した場合：直ちに、汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
- 容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管すること。
- 施設して保管すること。
- 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- 直射日光や水濡れは厳禁。
- 塗料等の缶の積み重ねは3段までとすること。
- 屋外で使用する場合は、使用する場所に隣接する家屋の換気口、空気取入れ口等に目張りをするなどして、蒸気、ガス等が屋内に入らないようにすること。
- 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄すること。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理すること。容器、塗装具などを洗った排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがあるため、排水処理場などの施設を持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼すること。

※上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
 ①詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート (SDS) をご参照ください。
 ②本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危険	危険有害性情報
	引火性液体及び蒸気/アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ/吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ/(気道刺激性)呼吸器への刺激のおそれ/(麻酔作用)眠気又はめまいのおそれ/長期にわたる、又は反復よく露による臓器の障害のおそれ/長期継続的影響によって水生生物に毒性

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9320
 東北支店 ☎022-232-6711 中国支店 ☎082-281-2180
 関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346
 北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861
 中部支店 ☎052-461-1960

●本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。
 ●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
 ●© Copyright 2022 NIPPON PAINT Co.,Ltd All rights reserved.
 ●日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.
 NP-A050
 AZ221103T
 2022年11月現在